

令和4年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p>	<p>1 コロナ禍の中、実験実習やグループ討議等の学習活動の実施が困難となったが、各教科による様々な工夫により、日々の学習活動の充実を図ることができた。次年度は新学習指導要領の実施及び一人一台端末などのICTの活用による授業改善や教育活動の活性化を一層進めていくことが必要である。</p> <p>卒業生の進路状況については、私学志向や生徒数が減ったこともあり、国公立大学は減少しているが、希望進路の実現についての成果を収めることができた。進路指導については、生徒の希望進路の実現に向けて、生徒の学習意欲の向上を図り、最後まであきらめず粘り強く取り組ませよう指導を進めていくことが大切である。特に4年度入学生は新コースを設置した最初の学年であり、そのねらい等を生徒、保護者にわかりやすく示し、個々の生徒がそれぞれしっかりと自分の目標を持ちながら、学習を進めていけるよう指導を行う必要がある。また引き続き土曜活用や3年間を見通した系統的な進路・学習指導を行っていく。</p>	<p>1 一人一人の生徒を大切にし、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を推進し、生徒に高い努力目標を持たせながら、その希望進路を実現させるとともに、新学習指導要領の円滑な実施、観点別評価の活用及びICTの活用による教育活動の充実を図る。</p> <p>(1) すべての学年において、ICT活用を一層推進し、特に第1学年の1人1台端末による教育活動を推進する。また学習指導に当たっては、基礎基本の確実な習得、生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫、教員相互の授業交流を充実させる。</p> <p>(2) 総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの組織的な実践等により、地域や社会とつながり、自ら課題を発見し他者と協働しながら活動する力を身につかせ、自らの在り方生き方を考えさせる活動の充実を図る。</p> <p>(3) 学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。</p>
<p>2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。</p>	<p>2 部活動、洛西フェスティバル等の学校行事は、コロナ禍の中、制限された中ではあったが、やれることを工夫し、生徒たちは熱意をもって取り組んだ。今後も総合的な探究の時間、洛再Links、学校行事、部活動等を一層活性化させ、生徒に在り方生き方をしっかり考えさせ、豊かな人間性を育む取組を充実させていく。</p>	<p>(4) 生徒指導が学校教育の土台であることを念頭に、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。</p> <p>(5) 各部、教科の連携のもと、特別な支援が必要な生徒の社会的自立に向けた個に応じた支援を進める。</p>
<p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>3 学校説明会等の広報活動の成果により、本校への志願者を一定確保することができた。今後も地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高め、本校の教育活動を広く知ってもらえる取組をより充実させる。</p>	<p>2 本校の魅力を発信し、府民、地域、保護者、中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進し、学校説明会の充実や新たなツールの活用を図りながら、本校を志願する中学生の一層の増加を目指す。</p> <p>3 引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、教育活動の充実を図る。</p>

成果と課題

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校作りを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に務める。 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 学校内外で実施する本校の説明会や広報誌、ホームページなどの内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。また、Classiを活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者等へ適切な情報提供に努める。 洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ、地域とのつながりを大切にすることに努める。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い就学支援等の充実を図る。 	B B B A A A	B B B	<p>各種会議は定期的な開催と必要に応じての開催により、情報共有するとともに、組織的な取り組みと対応ができた。一方で従来の組織では対応することが難しい教育課題も生じているため、柔軟な対応が求められている。</p> <p>年度当初よりホームページは頻繁に更新がなされ、広く情報発信できたものと考えられる。さらに生徒や保護者、また中学生とその保護者など府民にも本校の魅力を伝えるためにも、ホームページを含め、情報発信の在り方をさらに工夫する余地があると思われる。Classiは昨年以上に利用され、学校と生徒・保護者との重要な連絡ツールとなっている。</p> <p>洛再Links活動は今年度も活発に活動し、地域から大きな期待を寄せられている。今後も本校の特色化の軸となるよう学校全体で組織化していく必要がある。</p> <p>危険箇所の早期発見・修繕を施し、安心安全な学習環境を整えることに努めた。</p> <p>奨学金等の情報提供を行い、就学支援の充実を図ることに努力し、一定の成果があったと考えられる。</p>

各分掌

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
教務	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の学力向上につながるよう授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「指導と評価の一体化」を踏まえた観点別学習状況の評価方法を実践する。 1人1台端末導入に伴い、授業におけるICTの活用を一層推進する。 「総合的な探究の時間」を「主体的で対話的な深い学び」の中心的役割を果たすものと位置づけ、授業計画を策定する。 公開授業週間を設定し、教員間で指導方法の研究 	B A B A	B	<p>1年生の授業においては、タブレット端末を活用した授業実践を推進するとともに、その事例を他教科も含めて、教員間で活用する機会を設け、授業改善の一助とすることができた。今後も生徒の学力伸長につながる積極的な活用方法を模索していく必要がある。</p> <p>校内外での学校説明会や個別相談会で本校の魅力を伝えることができた。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・保護者から選ばれる学校となるよう、本校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・を行う。 ・自学自習の学習習慣と学校に軸足を置いた学習スタイルを確立させる。 ・綿密な計画のもとに学校行事を実施し、めりほりのある教育活動を展開する。 ・他分掌との連携を密にし、学校説明会やHPを積極的に活用する。 ・生徒自身が本校生徒であることに誇りと自信を持てるような教育活動を行う。 	B	B	今年度もコロナ禍でさまざまな制限があったが、以前の形に戻りつつある。その中で、来年度以降も日々の授業や学校行事で生徒がより一層、やりがいを持って取り組める工夫が必要である。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。 ・落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに地域や社会とつながり、自己を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ・制服の正しい着装や髪型など高校生らしい姿、身だしなみを指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマホ(携帯電話)のモラルを教え、マナーを指導するとともに、SNSやネットとのかかわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 ・洛再Linksやボランティア活動への積極的な参加を奨励し、豊かな人間性を育み質の高い集団となるように指導する。 ・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高め人権が守れる集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルに積極的に取り組ませ、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。 	B	B	どの指導項目についても一定の成果は出ている。自転車の安全走行に関しては粘り強く指導を続けるしかない。いじめに関しては発生防止はもとより発生時の迅速な対応が重要である。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 ・大学進学に関する具体的な目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者数、及び主に標準クラスからの難関中堅私大への合格者数を指標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択していくように促す。 ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて希望進路を実現するために、生徒への働きかけを講じるとともに、教科担当・担任への情報提供に努める。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、高次連携等を活用しながら、様々な刺激を与える。 ・個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力をする。 ・大学入試等の動向について、適切な情報収集と対 	B	B	校内で連携しながら、進学講習、進路行事等を通じて生徒の進路実現に向けた取組を実施することができた。特に大学・社会人を活用した活動は内容の濃いものとなった。今後も生徒の学力伸長に向けた取組を継続していく必要があると思われる。また、令和7年度入試についての情報が公表され次第、逐次その収集・整理が求められる。

第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 「想像力」と「思いやり」を大切にしながら、お互いに認め合い、高め合える質の高い集団づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に軸足を置き、学習、部活動、学校行事等に主体的に取り組み、互いに切磋琢磨しながら粘り強くやり切るように指導する。 学校生活のあらゆる場面で、他者への配慮や思いやりの視点を持って行動するように指導する。 教務部、進路指導部と連携し、ひとりひとりが自己の適性や将来像を意識したうえでコース選択等ができるようにサポートする。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 「想像力」「思いやり」「ほんの少しの勇氣」を学年のキーワードに掲げ、自分の将来を思い描きながら何事にも挑戦すること、常に他者への配慮を忘れないことの大切さを継続的に指導した。 進路指導部と連携して新たに進路講演会を企画、実施する等、生徒の意識を高めることができた。一方、コース選択に向けての1学期の指導は十分とは言えなかった。 基本的な生活習慣を身につけるべく継続的に指導することができたが、あいさつや朝の遅刻等、引き続き粘り強く指導していく必要性を感じる。 学習に対する意識啓発を日常的に行うとともに、模擬試験に向けて Classi を積極的に活用したり、学年で英単語コンテストを企画実施する等して目標を持って学習に向かわせる機会を意識的に設定した。 学力向上、進路実現を目指し、学習習慣を定着させ、家庭学習時間が増えるように今後も粘り強く指導していきたい。 総合的な探究の時間やホームルームを含め、様々な場面でタブレット端末を活用することができた。学習効果を高めるためのICTの効果的な活用法について、さらに研究が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 「大人」への第一歩として、きちんとした基本的な生活習慣を身につけ、礼儀や規律を守る態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部と連携し、きちんとした身だしなみや時間遵守、あいさつができるように習慣づける指導を継続的に行う。 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業を中心に置きつつ、家庭学習習慣を確立させ、学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の予習、復習等の家庭学習に丁寧に取り組ませる。 日常の指導や面談、Classi の活用等を通して、自己の学習時間を把握し、主体的に学習状況を改善していく姿勢を養う。 	B	B	
		<ul style="list-style-type: none"> ICT 推進担当と密に連携し、一人一台端末を積極的に活用して効果的に学習を進める。 	A		
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 一年次に身に付けた礼儀や規律を守る姿勢などを基盤として、学校に軸足をおき、授業や学校行事等において自主的・主体的に取り組む力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の登校指導や学校生活の中で様々な声かけを行い、教員と生徒間の信頼関係を構築する。 日々のホームルーム活動をはじめ、学校行事、委員会活動、研修旅行等において、生徒主体で準備や運営にあたる機会を設け、豊かな人間性を育み、質の高い集団づくりを行う。 	A		<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム活動での取組や行事等を通じて、学年全体で一致団結し、やり遂げようという団結力も感じることもできた。 教員間での情報共有を欠かすことなく、生徒との面談や声掛けを行うことができた。 学習面において、土曜活用を積極的に利用する生徒も多く、考査前の自習会講義日に学校へ足を運ぶ姿が見られた。また学年部では「SDGs クラブ」
	<ul style="list-style-type: none"> 授業を中心とした、予習・復習の学習サイクルを実施し、家庭学習習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部と連携を図り、土曜活用での大学模擬講義や考査前自習会への参加を促す。その中で、自ら進路実現を意識した行動選択ができるような指導を行う。 	B	B	

		<ul style="list-style-type: none"> Classi を活用し、日々の学習状況を把握する。また適切な声かけ、面談等を実施する。 	B		<p>等を発足させた。約50名の生徒が参加し、入試問題に取り組んだり、学習状況交流等を行い、学習意欲向上につなげた。しかし参加者は2割にとどまっている。</p> <p>土曜活用や自習会に参加している生徒への働きかけはもちろんであるが、来年度の受験本番に向けて、学年全体への取組や働きかけが必要であると感じている。来年度に向け、具体的な取組を考えたい。</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。 最高学年としての自覚を持って、学習、部活動、行事等でリーダーシップを発揮し、下級生の模範となるような生徒の育成を行う。 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上をはかり、社会に貢献できる質の高い人間づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に軸足を置き、互いに切磋琢磨できる質の高い学習集団作りを進め、希望進路を実現させる。 模擬試験への積極的な参加をうながし、データの活用や分析をすすめ、面談等を通して適切な進路指導につなげる。 進路指導部と連携し、的確でタイムリーな情報の提供を行い、進路目標の決定、実現を進める。 生徒の進路実現のために、保護者に向けても必要な情報提供を行う。 行事、委員会活動を通じて、生徒が主体的に運営できる力を育成する。 行事、HR活動等を通して、集団の中で相手を認めあい、互いの人権を尊重できる人間を育成する。 挨拶、身だしなみ、自転車マナー等、社会に出るために必要な常識を身につけさせる。 学年での遅刻指導を継続し、卒業まで学校に軸足を置いた生活を送れるよう指導する。 	B A A B B B B B	B B	<ul style="list-style-type: none"> 指定校推薦を利用して進路先を決定する生徒が昨年同様多かったが、進路指導部の指導もあり崩れず最後まで模範となった。 共通テストシミュレーションを実施して、本番に備えさせた。 総合型入試や推薦入試対策では、進路指導部や教科からのバックアップが手厚かった。 国公立受験について面談をはじめ生徒それぞれに応じた指導を適切に行った。 昨年に引き続きコロナ禍のなか、生徒たちはクラス演劇を手探りで工夫しながら取り組み、スポーツの部とも成果をあげることができた。 交通安全指導を行ってきたが引き続き全校体制で指導する必要性を感じた。 進路決定や受験日が近づくにつれて生活に乱れを生じさせる生徒がいたが粘り強く指導をした。
保健	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人を大切にする、学校経営計画に基づく様々な教育活動の支援 特別支援教育の充実 学習環境の整備と充実 	<ul style="list-style-type: none"> 保健管理や保健指導を計画的に実施する。 不登校等の未然防止や学校生活に支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。学年部や関連分掌と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 特別支援教育を充実させるための具体的な方策を立てる。 安全点検や清掃用具等の点検・整備を進める。 各種検査を活用し、教育活動に係る環境整備を進める。 	B B A B B	B B A B	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談会議を通じ、校内で必要な情報を共有し、生徒指導に役立てることができた。 支援の必要な生徒については外部関係機関と連携をとったり支援員の配置により充実をはかることができた。教科担当者会議や定期的に生徒情報を提供してもらうことにより、教職員の中

	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健会議の活用 新型コロナウイルス感染防止への対策に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 学校医・学校歯科医・学校薬剤師との連携を大切に、学校運営に活かす。 手洗いや換気等、感染予防を徹底すると共に、事務部と連携し、消毒等の環境整備に努める。 	B	B	<p>で情報共有できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検査を実施することができた。今後も事務部と協力して環境整備を進めていきたい。 	
図書	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 地域・保護者・中学生等に積極的に広報する。また、外部の公的機関等との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などを通して啓発活動を行う。 教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 学校行事のビデオ撮影を行い、学級活動等に提供する。 図書委員会の活動を活性化させ、自主的な取り組みを増やし視覚的にも楽しい図書館にする。 図書館ニュース、新着図書案内、洛西選書等を発行する。特設コーナーや季節のイベントを充実させ、読書の啓発に努める。 図書館管理システムによる蔵書管理を効果的に行う。 ホームページを通じて広報、情報発信を行う。 公共図書館との連携を深める。 	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用学習への直接的なサポートが充分に行えた。 3年ぶりの団体鑑賞であったが、滞りなく実施できた。 図書委員会をサポートし、活発な活動を支援できた。 『洛西選書』や定期的な広報誌の発行・館内装飾や特別展示などを通じて、生徒の読書活動の啓発に努めた。また本校ホームページで頻りに図書館の活動を発信することができた。 府立図書館と連携し、電子書籍等サービスをいち早く導入することができた。 図書館利用者数や貸出冊数を増やすことが課題である。
総務企画	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集に関して、本校の魅力や求める生徒像をさまざまな機会を活用して中学生及びその保護者にわかりやすく伝える。 在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 PTA、地域の方々との関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 府立高校特色化事業等の取組などを通して、生徒の社会科学的視点、国際的な視点等を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に発信する。 各分掌、教科、部活動と連携して生徒の日々の活動を記録に残し、広報にも活用する。 ホームページの更新頻度を高めて内容を充実させるとともに、Classiやお知らせメールを積極的に活用し、必要な情報をタイムリーに提供する。 PTAとの連携を深め、PTA総会をはじめとする各種委員会の活動、諸行事が有意義なものとなるようにバックアップする。 学年部、教科と連携して「グローバルネットワーク京都」の取組を積極的に推進し、年度末の発表会に向けて準備を進める。 	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 本校、中学校、塾等の説明会において、積極的に発信した。 学校生活の記録をさらに活用していきたい。 さらなる充実に向けて、HPのバージョンアップを検討中。 PTAの各業務をコロナ前と同等に実施できた。 「グローバルネットワーク京都」の取組を積極的に推進し、交流会において発表をすることができた。
ICT推進	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して日々の校務を効率的に行う。 ICTを活用して授業・学習活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内サーバー、校務PC、タブレット端末等を適切に管理運用する。 「新しい授業づくりリーダー育成研修」での成果も取り入れつつ、各教科と連携しながらICTを活 	A		B	<ul style="list-style-type: none"> 校内ネットワークや端末の日常的な管理運用や不具合対応を適切に行うことができた。 学習指導におけるICTの活用法に

		<p>用した効果的な学習指導の方法をさらに研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒1人1台端末の効果的な導入法、活用法をさらに研究する。 	B	B	<p>について、各教科との情報交換ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末の効果的な活用法をさらに研究する必要がある。
事務	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性と能力、可能性を伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い、修学支援等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止に伴う学校継続のための予算等により新たな物品等が購入できた。 危険箇所の修繕等安全対策に重点をおいた改修工事を積極的に行った。 ホームページ等を通じて奨学金の情報提供を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域の方々から信頼されるように外部と接触する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話や窓口業務の対応で、保護者や地域の方々から信頼されるように言葉遣い等に留意する。 	A	A	

学校運営協議会からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 志願者の増加につながるよう、中学生への広報をさらに進めてほしい。公立高校で何をどのように学ぶのか、洛西高校の部活動の特徴は何か、普通科と専門学科との違いなど、具体的な内容をより詳細に伝えてほしい。また、洛西高校と地元小学校との連携などを通して、小学生が将来の進学先として洛西高校を選択できるような取り組みも検討してほしい。 進路実績のさらなる向上のためにも、自習室の充実を望む。学習環境の充実により、保護者からの信頼を得ることができるのではないだろうか。 昨年に引き続き、自転車事故防止・自転車マナーの向上に向けての取り組みが必要である。 「Links活動」の推進に向けて、形骸化することなくさらに発展し、それが進路実現につながることを望む。
--------------	--

令和5年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本校を理解した上での第一志望者の一層の増加につながるよう、ホームページのリニューアル等も含め、学習活動・部活動・学校行事・Links活動など、学校生活の積極的な情報発信をさらに強化していく。 令和5年度は1・2年生が1人1台端末を所有することも踏まえ、ICTを活用した教育の展開を一層推進する。 生徒1人1人の進路実現のために、自習室の充実など学習環境の改善に努める。 Links活動は地域との連携を重視する本校の教育活動として重要なものである。令和4年度に設立したLinks同好会は順調に活動し、地域の方々からも好評を得ている。今後、校内で教職員が活発に意見を出し合い、生徒が失敗を恐れずに取り組むことで豊かな人間性を育み、進路実現に活かすことができるよう、Links活動の一層の充実を図る。 「総合的な探究の時間」について、従来のプログラムを見直してより学習効果のあるものとするための校内体制を構築し、生徒の進路実現につなげるなどにより、学校全体の活力を高める。 自転車事故防止、通学マナーの向上に向けて、教職員と生徒・PTAとも連携しながら、取り組みを進めていく。
-----------------	--